



野の花新聞

No. 19 2012年1月号 「じゅうしまつ」

みなさま、こんにちは。
 野の花の みなかた あきこです。
 今年は 辰年。龍のように どこまでも高く昇って行きたいと わくわくしながら新年を迎えています。じわじわと流行し始めているインフルエンザもものかは、今年も いぬ、ねこ、きんぎょ、そして新たな家族のじゅうしまつと共に、にぎやかで楽しい波乱万丈の日々を送りたいと思っています。
 ご縁のできたみなさまの ご多幸を祈りつつ・・・



(ピルルとクルル)

去年の秋、ついにじゅうしまつが 家族に加わりました。
 小鳥屋さんで 「オスを2羽ください」と言って買って来た子たちですが、ピルルは一日中さえずっているのに、クルルはとても無口。まだ 幼いからかしらと思っていたら、ある日突然、卵を産みました。えっ？女の子だったの？とぼ一然としている間に、年末にはついにひなが2羽、かえってしまい・・・あれよあれよというまにすくすく育て巣立ちました。この間じつに3週間という、スピード子育てです。しかも、この厳寒の季節に、交代でひなを暖め、自分たちは 羽も抜け、やつれながら、ひなを守り 育てあげたのです。

初めて見る じゅうしまつのみごとな子育てに、親の愛の深さを教えられ、あらためて 動物たちへの尊敬の思いを強くしました。

それにしても・・・困りました・・・

ピルルとクルルは、まだまだ子孫繁栄を目指しているらしく、また 卵を産んでいます・・・
 ごめんね、しばらく、子育てはお休みしてください・・・

わが家は 動物園で・・・ 花鳥園で・・・ 水族園で・・・ 尊敬する動物たちに 囲まれて、大好きな仕事をさせてもらう幸せを 感謝・・・！



(巣立ち直後のピッピーとポッポ)

